



只見町ブナセンターだより

<ごあいさつ> ここしばらく続いた暑さも落ち着き、夜は肌寒くなってきました。雨模様も増える中、実りの季節が近づいております。さて本号では、2024年上半期に催した観察会や只見町ブナセンター運営委員会等を報告するほか、今後開催予定の只見ユネスコエコパーク特別セミナー、秋のブナ林観察会をご案内します。

==== 開催案内 =====

【只見ユネスコエコパーク特別セミナー】

「ブナ林のマストは何?—遺食住から観る生きもののつながり—」

次のとおり開催いたしますので、お誘いあわせの上ご参加ください。参加無料、事前申し込み不要です。

■日時 2024年10月13日(日) 13:00~14:30

■会場 只見公民館 1階集会室

■講師 箕口 秀夫 博士 (新潟大学名誉教授)

【講師プロフィール】 博士(学術)。専門は森林学・生態学。1984年、新潟大学大学院を修了、新潟県庁に入庁。主に林業試験場(現:森林研究所)で豪多雪地帯の森林管理技術についての研究、普及活動を行う。1996年、新潟大学に移り、積雪地帯における生物多様性を意識した、野生動物と共存できる地域のあるべき姿の復元や森創り、林業についての研究や教育に取り組む。今年(2024年)3月の定年退職後も引き続き、同課題に地域の人達といっしょに取り組む。

只見ユネスコエコパーク特別セミナー
ブナ林のマストは何?
—遺食住から観る生きもののつながり—
2024 10/13(日) 13:00~14:30
講師 箕口 秀夫 博士 (新潟大学名誉教授)
会場 只見公民館 1階集会室



【講師プロフィール】
博士(学術)。専門は森林学・生態学。1984年新潟大学大学院を修了、新潟県庁に入庁。主に林業試験場(現:森林研究所)で豪多雪地帯の森林管理技術についての研究、普及、1996年、新潟大学に移り、積雪地帯における生物多様性を意識した野生動物と共存できる地域のあるべき生態系の復元や創り、林業についての教育、研究。今年(2024年)3月の定年退職後も、引き続き、同課題に地域の人達といっしょに取り組む。

只見町ブナセンター 秋のブナ林観察会
どんぐりが実り、移動する秋を楽しむ
2024 10/14(月・祝) 9:30~12:00
観察地 布沢癒しの森

集合場所 布沢癒しの森駐車場
持ち物 飲み物、少し暖かい上着、雨具、行動食、長靴orトレッキングシューズ
参加費 高校生以上400円、小・中学生300円
町内在住の小・中学生、高校生100円(保険料込み)
定員 30名 [要事前申込、締切日10月12日(土)]
申込み 只見町ブナセンターまで 電話(0241)-72-8355

只見町ブナセンター
〒959-0211 只見町布沢癒しの森 電話(0241)72-8355
TEL:024172-8355 FAX:024172-8356
Mail: info@bunacenter.or.jp

開催時間: 9:00~17:00 (最終受付16:00)
休 日: 休 日 (祝日・連休は除く)
※本館は、2024年10月14日(月・祝)開催です。
※本館の休館期間については、ホームページをご覧ください。



【自然観察会】

秋のブナ林観察会「どんぐりが実り、移動する秋を楽しむ」	
開催日時	2024年10月14日(月・祝) 9:30~12:00
観察地	布沢「癒しの森」
集合場所	布沢「癒しの森」駐車場
参加費	高校生以上 400円、小・中学生 300円、 町内在住の小・中学生、高校生 100円
定員	30名 [要事前申込、締切日 10/12(土)]
持ち物	少し暖かい上着、雨具、 長靴 or トレッキングシューズ、飲み物、行動食

参加を希望される方は只見町ブナセンター(0241-72-8355)までお申し込みください。

【企画展】「誕生から10年。只見ユネスコエコパークのここまでを振り返り、これからを考える」

只見ユネスコエコパークは平成26年6月12日に登録されてから今年で10年を迎えました。本企画展では、只見ユネスコエコパークのここまでを振り返り、10年の取組の成果や歩みについて分かりやすく紹介しています。

「エコパークってどこにあるの?」「自然を守るんでしょ?」「難しいんだよね」と思っている皆様! ユネスコエコパークは自然を守るだけじゃありません。自然とともに私たち人間の社会経済的な発展が目標なのです。また、展示内には次の10年に向けての目標や課題を皆さんと考え、意見をいただくコーナーもあります。皆さんと作り上げるこれからのユネスコエコパーク、ぜひお気軽にお越しください。(ユネスコエコパークはよく分からないという方には、お勧めです)

また、当企画展は好評につき会期を延長いたします。

■会期:2024.4/27(土)~11/4(月) ■会場:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー



=====**活動報告**=====

【自然観察会】

野生植物の花観察会 4月27日

4月27日(土)は「野生植物の花観察会」が余名沢にて行われ、18名が参加しました。この春は残雪の少なさと季節外れの高温で、例年より植物の成長が早く、カタクリなどの春植物の花は見頃が過ぎていたものの、金平糖に似たキクザキイチゲの果実など、興味深い結実の様子を観察することができました。スギ・ナラ・ブナそれぞれの林で春植物の生育状況も異なり、その要因についても理解を深めました。



ブナ林の新緑観察会 4月28日

4月28日(日)は「ブナ林の新緑観察会」が癒しの森にて行われ、14名が参加しました。晴天に恵まれ汗ばむほどの陽気の下、終点「戸板山眺め」までのコースを歩き、オトシブミなどの昆虫や、ゴジュウカラなどの鳥類を観察したり、オオバクロモジの香りを楽しんだりしました。去年は凶作だったブナの実ですが、今回は沢山の花をつけた個体もあり、秋の実りに少しは期待できそうです。



坂田滝原のブナ林観察会 7月13日

7月13日(土)、令和3年に只見観察の森に登録された「坂田滝原のブナ林」で観察会を行いました。この森は、坂田地区の県道脇に位置するブナの二次林です。当日はブナ林を歩き、大きく成長したコシアブラやハクウンボク、ブナなど、参加者が気になる植物を観察した他、降雪量の多い地域とぴったり重なるブナの分布について、その生態を解説しました。また今回の観察会では、福島県森林環境交付金を活用して制作した、観察の森案内標柱の設置などの整備体験も行いました。天気が良く暑い日でしたが、雪圧に耐えるブナのしなりを体験したり、バツタの抜け殻を採集したりと、爽やかな夏のブナ林を楽しむことができました。



▲青々とした初夏のブナの葉



▲標柱立て体験



▲折返し地点で記念撮影



▲雪圧に耐えるブナのしなりを体験する参加者

【只見町ブナセンター運営委員会】令和6年度第1回会議 4月27日

只見町ブナセンター運営委員会は、ブナセンターの適正かつ効果的な運営及びブナ林に代表される自然環境を核とした地域活性化を図るために設置されています。4月27日、今年度1回目の会議が開催されました。鈴木和次郎会長の司会により会議が進められ、事務局より令和5年度のブナセンター事業(自然環境・生物多様性の保護保全/持続可能な環境・資源の利用と社会経済の発展/学術調査研究、教育、研究、人材育成/附属施設の運営など)を報告し、これらの事業について協議されました。委員会からは主に以下のような意見が出されました。



- ツキノワグマの保護
- 公認自然ガイド養成の強化
- 町民からの附属施設の認知度不足や、ブナセンターへの関心の薄れ
- 伝承製品の販路拡大
- 中間報告会の開催希望
- 学術調査助成研究の成果公開の徹底 等々

只見町ブナセンターではいただいたご意見をもとに、令和6年度のブナセンター活動の充実に活かして参ります。

【教育支援】

会津学鳳高等学校 只見町ブナ林実習支援 6月8日

6月8日、ここ数年の恒例となっている福島県立会津学鳳高等学校1年生のブナ林実習を指導しました。同高校は文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されており、今回の実習には約40名の生徒たちが参加しました。実習地は布沢癒しの森で、散策路沿

いに見られるコナラなどの落葉広葉樹二次林、ブナ二次林、ブナ天然林を観察しながら、それぞれの林の成り立ちを二次的な植生遷移の観点から解説しました。また、ブナ林を構成する代表的な植物を重点的に観察し、生徒たちはその見分け方を後日、レポートとしてまとめていました。

日本自然環境専門学校・鳥類研究室の実習支援 6月13～15日

只見町ブナセンターでは町内の学校のみならず、町外の教育機関からの教育支援の依頼にも対応しています。6月中旬には、新潟県にある日本自然環境専門学校の鳥類研究室の調査実習を受け入れました。同校による只見実習は今年で4年目。今年は6名の学生たちが、熱心に調査手法を学び実践しました。



3日間の実習で確認された鳥類は延べ59種。6月は多くの鳥類の繁殖期に当たることから、この時期に調査を行うことで、只見町を繁殖地として利用する鳥類を把握することができます。特筆すべき成果として、最新のふくしまレッドリスト(2022年版)で絶滅危惧I類に選定されているブッポウソウとチゴモズが確認されました。



▲非常に珍しいチゴモズ

只見町のフィールドを生かした教育を支援

只見町には小学校3校と中学校1校があり、全ての学校がユネスコスクール※に加盟しています。これらの学校では、只見町の野外フィールドや「ただみ・ブナと川のミュージアム」などの町内施設を利活用しながらESD(持続可能な発展のための教育)やSDGs(持続可能な発展目標)の学習に取り組んでいます。

只見町ブナセンターもこれに協力しており、特に昨年からは学校とも相談しながら、只見町の特色ある野外フィールドをもっと活かした教育プログラムの開発に取り組んでいます。



▲思い思いの場所に枠を立ててスケッチの場所を決めます



▲枠の中に写る山の景観をスケッチする児童



▲どんな景観が切り取られたでしょうか



▲只見町を代表する雪食地形や植生を上手く描いています

6月は、その新たな取り組みの一つとして、只見小学校3・4年生を対象に、只見町の特徴的な景観である雪食地形の山並みや、そこに成立しているブナ林などの多様な森林を理解するために、枠を使いながら景観を捉え、枠の中の景観をスケッチするという授業を行いました。

初回のスケッチが、樹木の葉っぱが展開しきって山全体が緑色に染まる季節となってしまったため、子供達が森林の違いに気づき、理解するのは少し難しいかなと思いましたが、なかなかうまく捉えてくれたようです。

今後は同じ場所で季節を変えてスケッチを行い、季節の違いによりどのように景観が変化するのも体験してもらえよう、先生方と相談しています。また、スケッチした景観にある森林を実際に歩き、どのような森林であるのか、どのような生き物がいるのか、さらには、それらと人がどのような関係にあるのかも学習してもらえればと計画しています。



▲完成した初夏の山のスケッチの一部。それぞれ特徴が上手くとらえられています。

豊かな自然とそれを拠り所にした人の暮らしがすぐそばにある、只見町ならではのフィールドを活かした教育プログラムを進めています。

※ユネスコスクール:ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として位置付けています。現在、世界180か国以上の国・地域で12,000校以上のユネスコスクールがあります。日本国内の加盟校数は、令和6年3月時点で1,090校となり、1か国当たりの加盟校数としては、世界最大となっています(文部科学省HPより)。

=====**お 知 ら せ**=====

【「自然首都・只見」伝承産品に新商品】

自然と共生する只見の文化を伝える「『自然首都・只見』伝承産品」に、新たに産品が認証されましたのでご紹介します。認証されたのは、昔ながらの仕事着を小さな壁掛け飾りに仕立てた「小さな仕事着の壁飾り(シゴトシ・ユッコギ)」です。

「小さな仕事着の壁飾り(シゴトシ・ユッコギ)」は、国指定重要有形文化財である只見の仕事着コレクションの中から、伝統的な仕事着のシゴトシ(上衣)とユッコギ(下衣)

を壁飾りにしたものです。日常着られていたこれらの仕事着を仕立てるのは女性の大事な冬仕事とされ、只見の冬の縫い仕事として代々受け継がれてきました。また、木綿布は貴重品であったため、ユッコギを作る際には一切の無駄が出ないように反物を全て直線で裁ち、四角い布をパズルのように組み合わせで作られました。

壁飾りを製作している「めいわ縫子さん」は明和地区の縫い仕事に興味のある女性達の集まりです。布を大切にできる精神を受け継ぎ、着なくなった着物や仕事着を解いた布を使用し、仕事着の作り方はそのままに壁掛け飾りを作っています。「昔の人の知恵は未来への希望」「先人たちの“もったいない”は現代のSDGs」の考えのもと、壁飾り以外にも実際に身につけて使える仕事着や袖なし半纏はんてん、小物なども製作し販売を始めています。

伝承産品は「ただみ・ブナと川のミュージアム」「ふるさと館田子倉」で購入(予約)できます。



▲新商品「小さな仕事着の壁飾り(シゴトシ・ユッコギ)」



▲仕事着姿の「めいわ縫子さん」メンバー



▲明和公民館での活動の様子



▲明和公民館まつりで展示された好きな仕事着の柄を投票するブース

▼小さくなくても作り方はそのままに、複雑な組み合わせ方法で縫い上げます



【ホームページに『森の四季』を追加】

只見町ブナセンターホームページに「森の四季」ページを追加しました。「森の四季」は、只見町の広報誌「広報ただみ」にて、只見町ブナセンターが連載している動植物のコラムです。右のQRコード、もしくはホームページ下部のバナー、刊行物ページから閲覧できます。

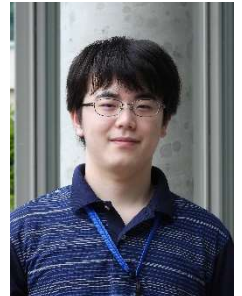


▲森の四季ページ
QRコード

【新任指導員 挨拶】

よしだ なおき
吉田 直生 (ブナセンター指導員)

みなさまこんにちは。2024年5月から只見町ブナセンター指導員として勤務しています、吉田直生と申します。専門は哺乳類で、昨年まで岩手大学で学んでいました。まだまだ未熟者ですが、只見の自然や歴史について学び、みなさまのお役に立てるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願いたします。



只見町ブナセンター 令和6年度行事一覧(予定)

企画展

会期	タイトル	会場
2024/4/27(土)～ 11/4(月) 会期延長	「誕生から10年。只見ユネスコエコパークのここまでを振り返り、これからを考える」	ただみ・ブナと川のミュージアム 2階 ギャラリー
2024/11/9(土)～ 2025.夏頃	「ブナを極めるII ブナ林に活かされる」	

只見ユネスコエコパーク特別セミナー

会期	タイトル(講師)	会場
2024/10/13(日)	「ブナ林のマストは何?—遺食住から観る生きもののつながり—」(箕口秀夫博士)	只見公民館 1階集会室

自然観察会

開催日	タイトル(観察地)	集合場所
2024/10/14(月・祝)	秋のブナ林観察会「どんぐりが実り、移動する秋を楽しむ」(布沢癒しの森)	布沢癒しの森駐車場

<編集後記> お盆が過ぎて9月に入り、季節も秋へと変わっていきます。森の木々はまだ青々としていますが、これから紅葉していくのを見るのが楽しみです。只見町ブナセンターでは今後も様々なイベントの開催を予定しております。皆様のご来館・ご参加をお待ちしております。(吉田)

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター



電話 0241(72)8355 ホームページ <https://www.tadami-buna.jp>
FAX 0241(72)8356 メール info-buna@amail.plala.or.jp
Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」・「ふるさと館田子倉」

開館時間：9:00～17:00 (最終受付 16:00)

休館日：火曜日 (祝祭日の場合は翌平日)、年末年始 (12/29～1/3)

入館料：高校生以上 310円 (20人以上は団体割引)

小・中学生 210円 只見町在住の小・中・高校生 無料